

成東経済センター 宮農指導員 椎名 康隆

発芽までの日数は、表③を参考にしてください。苗床に育苗箱を並べて、育苗箱1枚当たり2鉢くらいの灌水をします。その後、育苗箱を新聞紙で覆い軽く灌水し、ポリフィルムで被覆します。発芽するまではほとんど灌水の必要はありませんが、覆土が乾いたら、軽く湿る程度に灌水します。

発芽適温の15〜25℃を確保し、低温期はビニールフィルムやラップシートでトンネル被覆をしてください。

発芽がそろったら、新聞紙とポリフィルムを除去します。除去のタイミングが遅れると、苗が焼けるので注意が必要です。また、苗立枯れ病の予防として、出芽がそろった後（出芽3日後〜10日まで）、ダコニール1000（500倍）を1平方センチあたり0.5リットル土壌灌注します。



## ネギ

セル苗栽培  
（ひっぱり君の場合）  
育苗資材

10㎡当たりの育苗資材の必要量は表②の通りです。毎年使用する育苗箱とクラバピーは、病気予防のためにも良く洗ったものを使用してください。

### 播種〜播種後

発芽までの日数は、表③を参考にしてください。苗床に育苗箱を並べて、育苗箱1枚当たり2鉢くらいの灌水をします。その後、育苗箱を新聞紙で覆い軽く灌水し、ポリフィルムで被覆します。発芽するまではほとんど灌水の必要はありませんが、覆土が乾いたら、軽く湿る程度に灌水します。

発芽適温の15〜25℃を確保し、低温期はビニールフィルムやラップシートでトンネル被覆をしてください。

発芽がそろったら、新聞紙とポリフィルムを除去します。除去のタイミングが遅れると、苗が焼けるので注意が必要です。また、苗立枯れ病の予防として、出芽がそろった後（出芽3日後〜10日まで）、ダコニール1000（500倍）を1平方センチあたり0.5リットル土壌灌注します。

大網経済センター 宮農指導担当者 今関 利樹



## 水稻

毎年、育苗期になると細菌性苗立枯病の発生が報告されています。昔から「苗半作」と言われるように、苗作りはその後の生育や収量に大きく影響します。播種〜育苗期の管理を怠らず、健全な苗を作るようにしましょう。

### 細菌性苗立枯病(Bacterial Blight)

細菌性苗立枯病（もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病）は、糸状菌（カビ）が原因の苗立枯病とは異なり、細菌が原因の種子伝染性病です（表①、写真①、②参照）。

表① 細菌性苗立枯病の種類と症状

病害名	症状
もみ枯細菌病	・坪状に発生。 ・新葉がねじれたり部分的に白化し、抽出異常が見られる。 ・地際部が腐敗し、新葉は抜けやすい。
苗立枯細菌病	・初めは坪状に発生し、その後帯状になる。 ・発病苗は白化、萎凋した後、赤褐色になって乾燥枯死する。 ・新葉は腐敗せず抜けにくい。

### 対策

細菌性苗立枯病に治療効果のある薬剤はありません。そのため、発生させないための防除、温度管理が重要となります。

### 育苗箱の消毒

前年も発生していた場合、育苗箱か



写真② 葉の白化、抽出異常 (写真提供：山武農業事務所)



写真① 坪状に発生した苗の生育不良 (写真提供：山武農業事務所)

らの感染を防ぐため、ケミクロンGで消毒します。

### ●種子の準備

塩水選を実施し、優良種子を選定します。また、種子消毒剤（ヘルシード Tフロアブル等）で薬剤防除を行います。このとき、浸種水温20℃以上では、細菌性苗立枯病の発生を助長しますので、水温は10℃を目安に行ってください。

### ●用土消毒

用土消毒（フタバロンA粉剤等）は、種子伝染性の細菌性苗立枯病と、土壤伝染性の苗立枯病を防ぐために行います。特に苗立枯病は、対象とする病原菌によつて使用薬剤が異なりますので注意してください。

### ●温度管理

育苗期間中の高温（30℃以上）は、病原菌が増殖する原因となります。ハウス内の換気や、育苗シートの被覆をこまめに調整し、適正な温度管理を行ってください。

### ●発病後の対応

万が一発病した場合には、被害が拡大しないよう、他の育苗箱と隔離してください。また、予め余分に苗を準備しておくことも大切です。苗の様子がおかしいと思ったら、早めにJAまたは農業事務所へ相談ください。

表② ひっぱり君育苗に準備する資材（10a当たり）

資材名	必要数量	備考
チェーンポット	70〜75冊	チェーンポットCP303は1冊264穴です（3cm径×3cm高）。1冊当たり14.5mの植え付けができ、うね幅90cmの場合、チェーンポット75冊が必要となります。
げんき君ネギ培土	13袋	1袋でチェーンポット6冊分です。
クラバピーまたはエコバピー	70〜75枚	クラバピーは透水性が高く、根を通さず均一な苗作りができ、数年使用できます（約28cm×65cm）。エコバピーは適度な耐水腐食性のある育苗敷紙です。移植時までに腐食するのでそのまま移植できます。
コート種子	50000〜60000粒	コート種子2Lを使用します。播種機はネギ専用播種機（1穴3粒まきか2〜3粒まき）を使用します。
育苗箱	70〜75枚	中苗用育苗箱を使用します。

表③ 発芽および育苗日数の目安

作型	播種時期	発芽までの日数	育苗日数
年内どり秋冬ねぎ	3月下旬〜4月下旬	7〜9日	45〜55日
年明どり秋冬ねぎ	5月上旬〜5月下旬	5〜7日	40〜50日
春ねぎ	6月上旬〜6月中旬	4〜6日	35〜45日

12月の分析経過について

合計19点

残留農薬分析点数	多成分一斉分析	秋冬ネギ……………7点（内インショップ1点） 九十九里海つ子ねぎ……………1点 秋冬ニンジン……………4点（内ちばい2点、インショップ1点） イチゴ……………1点 ニラ……………1点 越冬キュウリ……………2点 バレイショ……………1点（緑の風） サツマイモ……………1点（緑の風） ナバナ……………1点（緑の風）
----------	---------	---

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壌診断点数 …… 合計112点